

No.	③-7-1		R7 予算額	23 百万円の内数
事業名	危機的な状況にある言語・方言の活性化・調査研究事業（危機的な状況にある言語・方言サミットの開催）		府省庁名	文化庁
概 要	平成21年2月にユネスコが指摘した危機的な状況にある8言語(八丈方言が八丈語として含まれている。)や東日本大震災の被災地方言に関する調査結果、各地の継承のための取組事例等を紹介するとともに、それぞれの言葉による語りの披露や危機言語・方言を使った活動や研究を行っている方の講演等を通して、危機言語・方言の価値や、各地域における危機言語・方言の保存・継承の活動について理解を深めていただき、「地域の宝」である言語・方言の危機的な状況の改善につなげようとするもの。			
支援対象	都道府県	補助率	都道府県に支出委任をして実施	
対象事業	危機的な状況にある言語・方言サミットの開催			
支援内容	都道府県に支出委任			
離島での実績	令和6年度は東京都八丈島において開催			
備 考	・開催地となる対象地域は危機的な状況にある言語・方言を抱えている地域			
担当部署	文化庁国語課			
連絡先	03-6734-2839			
参照 HP	https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/summit/index.html			

No.	③-7-2		R7 予算額	23 百万円の内数
事業名	危機的な状況にある言語・方言の活性化・調査研究事業（消滅の危機にある方言の記録作成及び啓発事業）		府省庁名	文化庁
概 要	平成21年2月にユネスコが指摘した危機的な状況にある8言語(八丈方言が八丈語として含まれている。)や東日本大震災の被災地方言のうち、音声資料や映像資料をはじめ、保存・継承に必要な調査研究が十分とは言えない地域の方言について、当該地域の方言の保存・継承に資するため、よりどころとなる基礎データの集積を中心とした実地調査及びその分析、方言の保存・継承に資する諸研究や成果報告等を行うもの。			
支援対象	法人格を有する団体	補助率	委託事業として実施	
対象事業	消滅の危機にある方言の記録作成及び啓発事業の実施			
支援内容	委託事業として実施			
離島での実績	平成25及び26年度の危機言語・方言の実態に関する調査研究において、東京都八丈島、青ヶ島での調査を実施			
備 考	・ 調査研究の対象となるのは危機的な状況にある言語・方言を抱える地域 ・ 委託先は法人格を有する団体			
担当部署	文化庁国語課			
連絡先	03-6734-2839			
参照 HP	https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/jitchichosa/index.html			